

放射線安全フォーラム
第84回放射線防護研究会
「放射線テロにおける放射線防護(管理)の現状と課題」

開催趣旨

原子力災害における線量測定や被ばく医療体制は拡充が図られ、RI 施設での事故時の対応についても現場レベルでの協力関係が構築されつつあります。しかし、放射性物質を用いたテロが発生した場合の放射線防護・被ばく医療体制の整備は遅れているのが現状です。特に、街中等の放射線施設外で発生した場合は検知が難しい上に測定・除染、線量評価といった放射線防護(管理)の対象となる人・物が多く発生する一方、それらを実施する人材・責任が明確でない状況下での対応が求められます。

そこで、国内での放射線テロ防止と発生後の検知・測定に関する現状と課題、および専門機関の立場から見たテロ対処に関する現状と課題について理解するとともに、万が一のテロ発生時に放射線防護を専門とする研究者・技術者へ期待する役割についてお聞きます。

記

1. 日時、場所

日 時 : 2024年10月19日(土)13:30~17:00

場 所 : ZOOM Webinar 及び

東京大学 伊藤国際学術研究センター(3階) 特別会議室によるハイブリッド開催

※コロナ感染拡大防止の対策として現地参加は先着20名様に絞らせていただきます。

※参加される方は参加フォーマットにて「WEB参加」「現地参加」いずれかを選択願います。

※開催場所及び申込期日がいつもと異なりますので、ご注意ください。

2. プログラム

司 会 : 五十嵐 悠 放射線安全フォーラム企画委員

講 演 : (1)「放射線テロ対策に資する検知・測定の現状と課題」

土屋 兼一 警察庁科学警察研究所

(2)「専門機関から見た放射線テロ災害時の対処の現状と課題」

北村 尚 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

放射線医学研究所 被ばく医療部 線量評価 Gr 技術統括

総合討論

「放射線テロ発生時の放射線防護(管理)担当者へ期待する役割」

※ 本研究会での、録画並びに録音等については一切禁止いたします。

3. 参加費:(放射線安全フォーラム会員は無料)

一 般:2,000円

学 生:無料(HP 申込時に学校名、学部・学科、大学院の場合、研究科・専攻、下一桁を除いた学生番号を記入してください)

10月4日(金)までに、以下の口座に振込をお願いします。

振込名義が申込者と異なる場合は、必ず振込依頼人欄に申込者の名前を入力してください。

<振込先口座> 三菱UFJ銀行 虎ノ門支店

普通預金口座 0054856 特定非営利活動法人放射線安全フォーラム

4. 参加申込み:ホームページよりお申込み下さい。 <https://www.rsf.or.jp>

事前登録制です。

参加される方は必ず受付フォームより参加申込みをお願いいたします。上記サイトより申し込みされていない方、参加申し込みのない方は、当日参加できない可能性もございます。なお、定員に達した後、または、受付期間終了後の参加お問い合わせは、事務局までお願いします。

5. 申込期日:2024年10月4日(金)17:00

6. 問合せ: mail@rsf.or.jp

[懇親会] プログラム終了後、現地参加者が参加可能な懇親会を、17時30分から2時間程度を予定しております。併せてご参加いただければ幸いです。懇親会参加費は別途3,000円です。(支払い方法は上記の口座振り込みと同様です。)

以上